

持続可能な地域社会の実現（2019年度上期実績）

<地域活性化支援>

- ・台湾・極東ロシア訪日旅行者をターゲットとしたメディア招聘事業を実施（北海道銀行）

5月、台湾のメディア関係者へ台湾インバウンド観光客向けの「北海道ならではの食・観光」を紹介し、8月には、ロシア（ウラジオストク）のメディア関係者へロシアインバウンド観光客向けの「北海道・東北地方・新潟県の観光の魅力」を紹介しました。それぞれ北海道の観光情報として発信されることで、インバウンド観光客の誘客を目指した招聘事業を実施しました。



- ・学校法人札幌学院大学との包括連携協定の締結（北海道銀行）

7月、学校法人札幌学院大学と包括連携協定を締結しました。産学連携を通して、人材育成やスポーツ振興の発展に寄与し、地域経済の発展ならびに地域社会の活性化を目指します。



- ・「TGC 富山 2019」開催に協力（北陸銀行）

7月、昨年に続き富山で2回目の開催となった東京ガールズコレクションプロデュース「プレステージ・インターナショナル presents TGC TOYAMA 2019 by TOKYO GIRLS COLLECTION」に協力企業として参加しました。



©プレステージ・インターナショナル presents TGC TOYAMA 2019

「富山をもっと元気に！」という思いのもと今回も誘致を働きかけ、SDGsに通じる地域経済の活性化や女性が輝く社会の推進に向けて積極的に協力しました。県内外から若い女性を中心に延べ約7,500名が来場して会場は熱気と歓喜に包まれました。また、関連イベントのグルメフェスや花火大会にも延べ約28,000名が来場し、大いに盛り上がりました。

- ・富山市とSDGsの推進に関する包括連携協定締結（北陸銀行）

8月、「SDGsの推進に関する富山市と北陸銀行との包括連携協定」を締結しました。SDGs推進に関する外部機関との連携協定は初めてとなります。連携協力事項では、「地域経済の活性化・産業振興に関すること」や「教育文化の振興に関すること」など7項目を掲げています。



今後は、本連携協力事項に基づき、SDGsを推進する企業向けの商品の取り扱い推進や、セミナー等を通じた地域企業の活性化支援、健康経営に関する普及啓発、地域の環境保全活動、リテラシー向上のための教育活動などで、相互の連携と協力を図り、地域社会の持続的な発展を目指してまいります。

- ・鷹栖町・株式会社三友システムアプレイザルとの連携協定をコーディネート（北海道銀行）

9月、北海道銀行のコーディネートにより、鷹栖町と株式会社三友システムアプレイザルが空き家対策に関する連携協定を締結しました。

両者は、空き家の有効活用や解消等を図ることを目指して協

働し、北海道で初めて空き家対策の担い手強化・連携モデル事業として、鷹栖町で「空き家調査員養成事業」が実施されます。本事業実施における両者の協働に対して助言やサポートを行います。



<責任ある投融資>

- ・「震災時元本免除特約付き融資」の取り扱いを開始

（北陸銀行・北海道銀行）

4月、「震災時元本免除特約付き融資」の取り扱いを開始しました。大規模地震発生時のリスク対策やBCP（事業継続計画）に対する関心が高まっており、地域金融機関として震災発生時の事業の継続・復旧対策に積極的に関与していくことを目的としております。

本融資により、大地震発生に伴う売り上げ減少、復旧費用、製品製造中止など財務面の損失補てんが可能となり、あらかじめ特定された震度観測地点において、震度6強以上の大地震が発生した場合に、融資元本の100%または50%が免除となる特約付き融資です。

- ・ESGに配慮した環境改善に資する「グリーンボンド」を購入

（北陸銀行）

9月、三井不動産株式会社が発行するESGに配慮したグリーンプロジェクトに資する債券「グリーンボンド」を購入しました。本債券は、省エネルギー事業に取り組む高層ビルとして本年3月に完成し、北陸銀行・北海道銀行の東京支店が入居する日本橋室町三井タワーの保留床取得資金のリファイナンスとして充当されます。日本橋室町三井タワーは、「日本橋スマートエネルギープロジェクト」による電力・熱供給を受けることにより、エネルギーの有効利用で省エネ・省CO₂を実現するだけでなく、高い防災力を備えています。



本債券の購入を通じて、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）のうち、目標7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」の達成等にも貢献してまいります。

<環境保全活動>

- ・桜ヶ池エコビレッジ「桜満開プロジェクト」に参加（北陸銀行）

4月、富山県南砺市で、桜ヶ池エコビレッジプロジェクト推進委員会が開催する桜ヶ池エコビレッジ「桜満開プロジェクト」に参加協力しました。本プロジェクトは、桜ヶ池を桜の名所に再生しようと同委員会が5年前から開催しており、今回で5回目の参加になります。当日は桜ヶ池周辺の清掃活動や、新たな苗木の植樹活動を行いました。



<地域密着活動>

- ・「北海道日本ハムファイターズ」冠試合を開催（北海道銀行）

4月、グランドパートナーとして応援している北海道日本ハムファイターズ公式戦にて「北海道銀行スペシャルデー」を開催しました。ベースランニングやダグアウトツアール等各種イベントも実施し、試合とともに楽しみいただきました。



・「ライラックコンサート」を開催

5月、札幌コンサートホールKitaraにお客さま1,900名を招待し、マリimba奏者 沓野勢津子さんと札幌交響楽団による共演を楽しんでいただきました。



(北海道銀行)

・「どうぎんカーリングクラシック2019」を開催

8月1日から4日までの4日間、5回目となる「どうぎんカーリングクラシック2019」をどうぎんカーリングスタジアムで開催しました。昨年より参加チームも増え、国内外から男女各10チームが熱戦を繰り広げ、多くの来場者にトップレベルの戦いを楽しんでいただきました。



(北海道銀行)

■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを経営理念としております。

お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

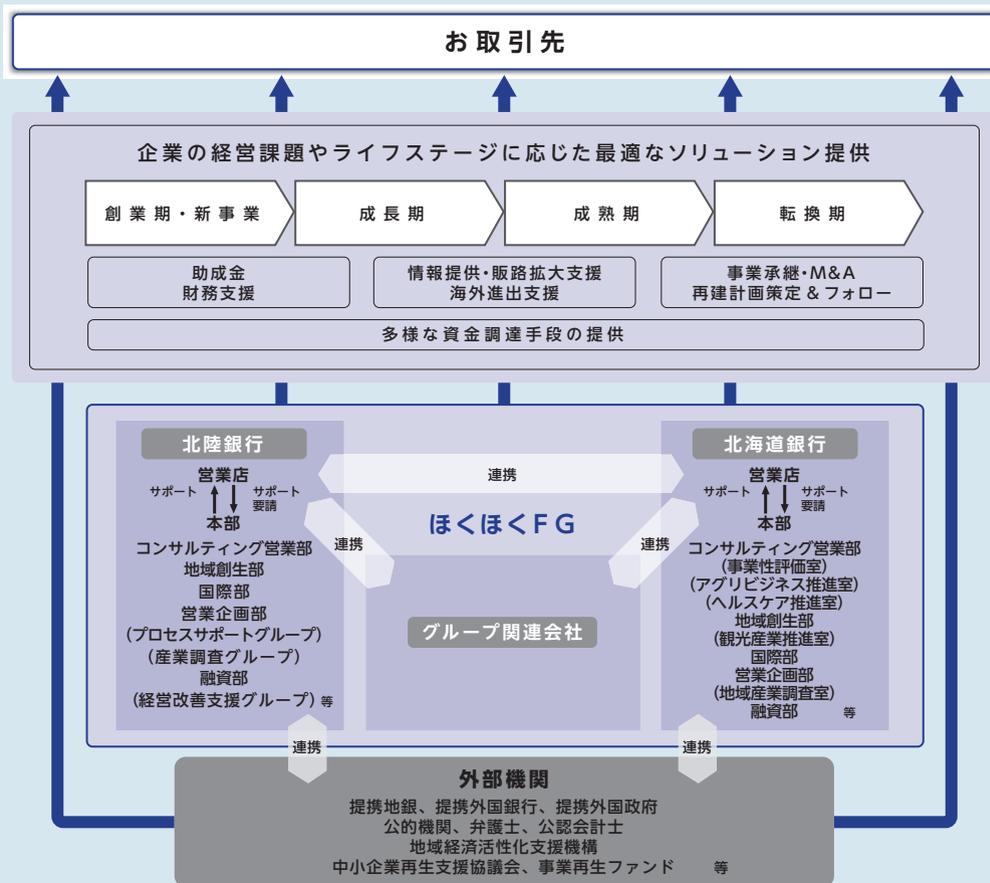
お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループを目指してまいります。

■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備

ほくほくフィナンシャルグループでは、「経営基盤の強靱化」の取り組みの1つとして、中小企業の経営支援に取り組んでいます。経営改善支援取組先の選定、事業計画の策定と実績のフォローを北陸銀行融資部（経営改善支援グループ）、北海道銀行コンサルティング営業部（事業性評価室）が担っています。また、営業力の向上に向けたお取引先への情報提供と販路拡大支援、海外進出支援に関するサポートを北陸銀行コンサルティング営業部、地域創生部、国際部、営業企画部（プロセスサポートグループ、産業調査グループ）および北海道銀行地域創生部、コンサルティング営業部、営業企画部（地域産業調

査室）、国際部が担い、事業承継、M&Aについては、北陸銀行コンサルティング営業部、北海道銀行コンサルティング営業部がそれぞれ外部専門機関と連携し、営業店とともにコンサルティングを行っています。また、各担当部・室では、お取引先に対する目利き力、コンサルティング力を持つ人財の養成に努めています。

経営の改善のための取り組みに関する計画・実績・進捗状況等については、経営会議や取締役会が各担当部・室より報告を受け、指示を行い、諸施策等の改善や更なる充実を図る態勢としています。



1. 創業・新規事業開拓の支援

当社グループでは、創業や新規事業を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなど資金調達面からの支援や産学連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っています。

<公的助成申請サポートによる創業等の支援>

(北陸銀行・北海道銀行)

公的助成制度の紹介や申請書策定支援により、お取引先の新規事業意欲を後押しし、事業多角化をサポートしています。

また、「2018年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(公募期間2019.2.18~2019.5.8)」「2019年度ものづくり・商業・サービス高度連携促進補助金(公募期間2019.4.23~2019.6.24)」の申請を検討・準備しているお取引先に対して、北陸銀行および北海道銀行では専門家によるアドバイスや申請支援・採択後の実施支援を行いました。

(2019年度上期実績)

ものづくり補助金	採択件数	60件
----------	------	-----

<創業支援にかかる外部連携強化>

・**創業者ネットワーク構築のきっかけづくりや補助金等の情報提供等による創業の支援** (北陸銀行)

7月、「創業者の集いとフォローアップセミナー」を金沢市で日本政策金融公庫と共同開催しました。3月の富山市開催に引き続き、今回も創業後おおむね5年以内の事業者を対象として、創業者同士のネットワークづくりや、専門家による講演を通じて創業後の経営課題解決のヒントを提供し、事業の更なる飛躍につなげていただくことを目的としています。セミナー後には、IT活用や資金計画、販路開拓など、様々な経営課題にお答えする個別相談会も開催しました。(参加人数28名)



2. 成長段階における支援

当社グループの広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会・セミナーの開催を通して、お取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、事前相談やテーマの絞り込みにより、お取引先にとって有益なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っています。

また、海外行政機関や金融機関等との業務提携、海外駐在員事務所による情報提供を通じて、お取引先の海外進出支援や現地における継続的なビジネス展開の支援に努めています。

<セミナーの開催>

・**「経営セミナー2019」を開催** (北陸銀行)

6月と9月に、金沢・大阪・名古屋の3か所で「ほくぎんビジパ倶楽部」の会員さま向けに「相手の心を動かす法則 経営セミナー2019」を開催しました。

本セミナーは毎回人気講師をお迎えしており「ほくぎんビジパ倶楽部」の人気メニューとなっています。6月は国際ジャーナリストのモーリー・ロバートソン氏、9月はコピーライターの佐々木圭一氏が講演しました。



「ほくぎんビジパ倶楽部」とは、北陸銀行とお取引いただいている企業さまに「企業経営に役立つ情報の提供」「各種特典サービスの提供」を通じて、企業の発展のお役に立つことを目的とした会員制サービスです。

(開催回数3回、参加人数76名)

・**「北海道3自治体共催ビジネスセミナー」を開催**

(北海道銀行)

8月、栗山町、当別町、大空町の3自治体とともに、道内に食品工場等の立地を考える企業を対象としたセミナーを大阪市にて開催しました。

北海道の豊富な農水産資源をはじめ、栗山町、当別町および大空町の3自治体を持つ魅力やポテンシャルを発信しました。

(来場者70名)

<商談会等の開催>

・**「第2回FOOD EXPO北海道」を開催** (北海道銀行)

7月、道内の食品生産・製造・加工メーカー等の販路拡大支援を目的に“食の相談会”「FOOD EXPO北海道」を開催しました。



本商談会では道内全域に亘る幅広いネットワークを活かし、北海道の「優れた逸品」「隠れた逸品」を道内外のバイヤーに対してPRしました。(出展者118社、来場者992名)

・「地方銀行フードセレクション2019」を開催
(北陸銀行・北海道銀行)

9月、地銀55行共催で、14回目となる「地方銀行フードセレクション2019」を開催しました。取引先の販路拡大を支援し、地域経済の活性化への貢献を目的としています。今回、参加企業が初の1,000社を超える規模となり、また来場者も2日間で13,000名を超え盛況となりました。(出展者1,031社、来場者13,412名)



・「インバウンドプロダクツ2019」を開催 (北海道銀行)

10月、2020年東京五輪なども見据え、今後も増加するインバウンド需要に対する受入態勢強化のため「インバウンドプロダクツ2019」を開催しました。マーケティング(SNS活用・地域ブランドコンサル)、多言語対応(翻訳・人材)、システム(無料WiFi、電子決済)等のサービス事業者と道内の自治体・観光関連事業者とのマッチングを目的としております。展示会のほか個別商談会も実施し、多くの商談が行われました。



<海外進出サポート(セミナー・イベントの開催)>

・「海外販路開拓セミナー」を開催 (北陸銀行)

7月、富山市で東京海上日動火災保険株式会社とともに、「海外販路開拓セミナー」を開催しました。技術や個性を備えた自社商品の、海外での販路開拓を検討されているお客さまを対象に、米国Amazonを活用した越境EC事業について越境EC市場の現状や「Amazonグローバルセリング」を利用した米国向け商品販売の方法やコスト、注意点などを詳しく解説しました。



また、事前に申し込みいただいた8社には、セミナー後に個別相談会を開催し、各社の事情を踏まえて具体的なアドバイスを行いました。(セミナー参加社数25社、セミナー参加人数35名、個別相談会参加社数8社)

<海外進出サポート(商談会の開催)>

・「新工ネ車技術交流会in広東」を開催 (北陸銀行)

6月、中国広東省において、広東省商務庁とともに「新工ネ車技術交流会in広東」を初開催しました。



日中自動車関連企業商談会には、事前に日系企業の企業情報や希望商談内容を集約し、広東省商務庁が招聘した中国自動車関連企業に対して、効率的で精度の高い商談の実現を図りました。

また、自動車関連メーカーと直接交流する場を設け、参加企業が中国ビジネスを指向できる機会を提供しました。广汽豊田自動車およびBYD自動車も視察し、参加企業の製品開発や販売戦略に役立てていただきました。(取引先参加21社・50名、中国側参加66社・96名)

・「タイ・ローカル企業とのビジネスマッチング商談会inバンコク」を開催 (北陸銀行)

8月、タイ・バンコクにおいて、商工組合中央金庫および業務提携先であるタイ王国投資委員会(BOI)が主催する「タイ・ローカル企業とのビジネスマッチング商談会」を初めて共催し、お客さまとタイ・ローカル企業との結びつきを強める機会を提供しました。参加日系企業を、BOIが投資推奨する業種に限定し、仕入先、外注先となる優良で信頼できるタイ・ローカル企業の紹介に特化しました。



北陸銀行は、2013年1月のBOIとの業務提携以降、バンコク駐在員事務所を拠点としてBOIをはじめとする政府機関との関係構築を通じてタイ企業およびタイ政府機関への貢献をテーマに活動しております。(参加社数 日系29社、タイ・ローカル48社、参加人数140名、商談件数150件)

・「遼寧省中日商談会」を開催 (北陸銀行・北海道銀行)

9月、中国遼寧省大連市において、遼寧省商務庁ほかと共同で第3回目となる「遼寧省中日商談会」を開催しました。



今回は、対象業種を「食品・日用生活品」に絞り、巨大市場を背景とした中国での販路開拓を狙う日本側の参加者と、中国企業との間で事前予約制・個別面談形式による商談が活発に行われました。

中国側からは、新たな調達先を求めて遼寧省を中心とした多くの企業が参加し、中国で関心の高い日本の食品などについて熱心に説明を聞き、販売増加に結びつけようとする姿が見られました。

(参加社数 日系企業101社、中国企業457社)

<その他の取り組み>

・人材紹介業を開始 (北陸銀行)

7月、人材紹介業者4社と提携し、人材ニーズを有する企業に対し経営層や管理者層、専門的な知識を持つ人材などを紹介する人材紹介業を開始しました。これによりお取引先の経営戦略の策定・実行支援から経営人材等の採用に至るまでのコンサルティングサービスをワンストップで提供できる体制が整いました。銀行本体が人材紹介業務の免許(有料職業紹介事業の許可)を取得するのは、北陸三県に本店を置く金融機関で初めてです。

人材紹介業務を通じ、都市部人材の地元地域への還流を促し、お取引先の経営課題解決、持続的成長の実現に向けた支援をすることで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

- ・農業法人の経営をサポート** (北海道銀行)

7月、農業法人「合同会社OMEGAファーマーズ」への出資および代表社員派遣を行い、経営を支援することとしました。北海道を代表する生産者と共に広域で新たな展開を目指すことで、北海道農業の課題である、担い手不足や耕作放棄地の増加等の解決に向け、「農業経営の

企業化」を実現し、北海道農業の発展に貢献することを目的としています。



3. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

専担部署や中小企業再生支援協議会などの外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善の計画策定やその後の各種モニタリングまでフォローを行っています。

<経営改善・事業再生>

・外部機関との連携強化

地域経済活性化支援機構(REVIC)、中小企業再生支援協議会、経営改善計画策定支援事業(早期経営改善支援含む)など外部機関を活用した経営改善の取り組みを強化しています。また、REVICの特定専門家派遣制度を活用して、「事業性評価研究会」を実施しています。

・深度ある実態把握と経営改善支援

経営改善の課題・改善策を明確にするため、SWOT分析を用いた事業性評価やPDCAサイクルによるモニタリング、協働および自行経営コンサルティング等により、きめ細かく企業支援活動を実施しています。

経営改善支援の取組実績 (2019年度上期)

重点的な経営改善支援を必要とするお取引先 (経営改善支援取組先)	751先
うち再生計画を作成した先	585先
うち事業の改善が確認できたお取引先	76先

・金融円滑化に向けて

当社グループは、地域金融の円滑化を最も重要な役割と捉え、これまでも地域のお客さまの資金需要や返済条件の見直しなどのご要望に対して積極的な取り組みを行ってきました。

今後も、中小企業・個人事業主のお客さま、住宅ローンをご利用のお客さまからのご要望に対して真摯かつ柔軟な対応に努め、金融円滑化に関する基本方針に則り積極的な支援を行ってまいります。

・経営者保証に関するガイドラインへの取組状況

当社グループは、2013年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会(全国銀行協会および日本商工会議所が事務局)が公表した「経営者保証に関するガイドライン」(以下、本ガイドラインという)を踏まえ、本ガイドラインを尊重し、順守するための態勢を整備しています。

お客さまと保証契約を締結する場合や保証人のお客

さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき誠実に対応するよう努めています。

本ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご参照ください。

- ・全国銀行協会

<https://www.zenginkyo.or.jp/adr/sme/guideline/>

- ・日本商工会議所

<https://www.jcci.or.jp/sme/assurance.html>

・経営者保証に関するガイドラインへの取組実績

(2019年度上期)

①新規に無保証で融資した件数	5,308件
②保証契約を変更した件数	178件
③保証契約を解除した件数	315件
④ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	7件

<事業承継・M&A>

・提案活動の実施

事業承継やM&Aなど専門知識を持つ本部部署が営業店と連携し、外部専門機関も活用しながらお取引先のニーズに応じた提案を行い、円滑なビジネス承継や事業拡大の支援活動を行っています。

・株式会社日本M&Aセンターの「バンクオブザイヤー」「地域貢献大賞」「情報開発大賞」を受賞 (北陸銀行)

6月、M&Aに関する業務提携先である株式会社日本M&Aセンターより「バンクオブザイヤー」他2賞を受賞しました。「バンクオブザイヤー」は2018年度に最も多くの成約実績があった提携金融機関1行に授与されるもので、提携金融機関を対象とした賞の中で最高の賞に位置づけられています。北陸銀行の「バンクオブザイヤー」受賞は2017年以降の受賞で、通算でも4度目となります。

当社グループは、事業承継対策としてのM&A業務に積極的に取り組んでおります。広域店舗網の活用や提携機関の協力を得ながら、今後も多様化するお客さまのニーズに一層きめ細かく対応してまいります。